

6 オリエンテーリング



地図を頼りにポストを探して自然に親しもう！

- 目的：協調性を高める。自然に親しむ。
体を動かすことを楽しむ。
- 対象：小学生(高)～
- 人数：200人程度
- 時間：2～2.5時間（赤・緑コース）
- 経費：なし
- 準備

<団体>

- ・コンパス利用について決めておく。（26個借用可）

A：利用しない

B：利用する（方位確認のみ）

C：利用する（システム使用）

※ 説明時間に15分程度の追加が必要です。

- ・事前にグループ分けをしておく。（4～6人）
- ・野外活動のしやすい服装、帽子、水筒

<自然の家>

- ・使用道具、引率者用地図、（コンパス）

オリエンテーリングのすすめ方

- 使用道具

地図、解答用紙、ファイル、ビブス、自転車(引率者用)、(コンパス)

- コース

赤コース・緑コース (両コースとも：自然の家周辺5ポスト、中之島2ポスト、海浜公園周辺7ポスト)

- 展開

① 用具等の準備、集合、人員確認、健康観察
② 活動内容の説明
③ 活動
④ ゴール後の人数確認、後片付け
⑤ 活動のまとめ

- 留意事項

① 引率者はコースの下見を行い、危険箇所(水辺周辺や正門、裏門等)を確認し、引率者を配置する。
② 通過グループをチェックする。(サンセットブリッジ)
③ グループから離れて行動しないように注意する。
④ 活動中は、天候の急変や事故防止に備えて対応措置を考えておく。
⑤ 危険な動植物におやみに触れないように注意する。 (ハチ・毛虫・ハゼノキ等)
⑥ 振り返り(視点) ・仲間との協力、自然への気づき、判断力など

●活動のしかた

- 1 グループ編成(4～6人)をする。
(2コースに分ける。)
- 2 グループ全員がそろって活動する。
- 3 自然を大切にし、安全に気を付ける。
- 4 コースを外れたら前の地点にもどる。
- 5 コース内に設置してあるポストをできるだけ早く見つけ、記号を記録し、制限時間内にゴールする。
- 6 ポストを見つける順番やルートは自由だが、ポストの場所によって得点が異なるため、各グループでどのように回るか考えるなど、チームワークが大切になる。



● コンパスシステムについて



図 1



図 2

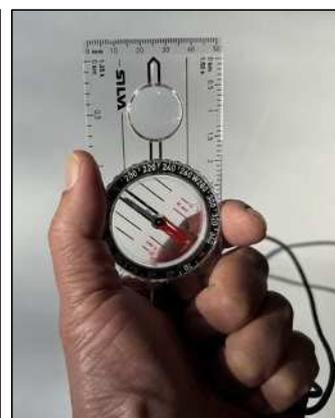


図 3

- 1 地図上にコンパスを置き、「図1」のように、現在地と目的地の2点間を結ぶ線上にコンパスの「エッジ」を合わせます。
- 2 「図2」のように「コンパスカプセル」を回し、カプセル内の「赤い矢印」が地図上の北を向くようにします。
- 3 コンパスを「図3」のように持ち、体の前で水平を保ちます。その姿勢で、「磁針」の赤色側（北）がカプセル内の「赤い矢印」と重なるまで「体」を回します。

このときのコンパスの「黒い矢印」の向いた方向が「目的地の方向」を示していますので、「黒い矢印」の方向に向かって進みます。